

**北の物販倶楽部
謁見音声 書き起こし資料**

2015年4月26日 謁見収録 No.01

はじめに

◎【推奨環境】

このレポート上に書かれているURLはクリックできます。できない場合は最新のAdobeReaderをダウンロードしてください。（無料）

<http://www.adobe.co.jp/products/acrobat/readstep2.html>

◎【著作権について】

このレポートは著作権法で保護されている著作物です。下記の点にご注意戴きご利用ください。

- ・このレポートの著作権は『北の物販倶楽部』に属します。著作権者の許可なく、このレポートの全部又は一部をいかなる手段においても複製、転載、流用、転売等することを禁じます。
- ・このレポートの開封をもって下記の事項に同意したものとみなします。
- ・このレポートは秘匿性が高いものであるため、著作権者の許可なく、この商材の全部又は一部をいかなる手段においても複製、転載、流用、転売等することを禁じます。
- ・著作権等違反の行為を行った時、その他不法行為に該当する行為を行った時は、関係法規に基づき損害賠償請求を行う等、民事・刑事を問わず法的手段による解決を行う場合があります。
- ・このレポートに書かれた情報は、作成時点での著者の見解等です。著者は事前許可を得ずに誤りの訂正、情報の最新化、見解の変更等を行う権利を有します。
- ・このレポートの作成には万全を期しておりますが、万一誤り、不正確な情報等がありましても、著者・パートナー等の業務提携者は、一切の責任を負わないことをご了承願います。
- ・このレポートを利用することにより生じたいかなる結果につきましても、著者・パートナー等の業務提携者は、一切の責任を負わないことをご了承願います。

真田 孔明：

これでいいですか？乾杯！

北野会長：

これから皆さん、銀行を相手にするんだから、いかに銀行が喜ぶ単語を寄せ集めておくかいうこと大事や

真田 孔明：

単語集

北野会長：

ホント。敵に向かうのと味方に向かうのは天と地も違うから。女の人は特にそうでしょ？「ああ、きょうもきれいですね！服もすてきやね！いつもやね！」こんな感じで言うのと「お前、なんやその格好、お前」こう言うのとはもう天と地・・・

真田 孔明：

天と地・・・家の中で刺されたら大変ですよ

北野会長：

刺されるならまだいいけど、塩をちびちび余計、入れられたら・・・笑 やっぱ、長時間にかたってやっぱり殺される。塩が一番、怖いよ。砂糖づけか塩づけかいうぐらいやからね・・・本当よ。奥さんには気を遣って日々、生活しとったほうが無難。目が開いてとるとか、きれいとか、きれいでない、関係ない。お世辞を三つほど並べておけば相手もそんなに悪いことしない

サッチェル：

言うのはただですもんね

北野会長：

言うのはただ！税金もかからんし・・・子供も同じよ。だから、皆さん、ちょうど子育てをせんならん時期やから。子供もやっぱ、おだてて褒めて「お前はできる。たいしたもんや」言うて。毎日、こう言うのと、朝から顔を見た瞬間から「お前、いつもだらやな、だらやな」言うて育てりゃ、そのとおりになっていく。そういうのは俺は基本的にすごく大事なことでないかなと思うから

真田 孔明：

お茶。何か高級そうな、お茶ですね（出てきたお茶をみて）

北野会長：

俺また気の利いたお酒が出てきたのかなと思って・・・

真田 孔明：

紹興酒みたいなね 笑

真田 孔明：

足りない？（飲み物）

北野会長：

あるところから飲んどれ

サツチェル：

銀行の好きな言葉は例示でいうと、どういう系がいいですか？

北野会長：

やっばし、まずは支店長をおだてておくと・・・担当者、支店長。担当者にさ、ぱっと会った瞬間にお宅の支店長、何かすごい支店長らしいですねって。担当者にしたらさ、こっちは聞いた情報やということで話をすればさ、これ言うのと言わんのと天と地も違うよ。だから、やっぱり人を下げるより上げる言葉をやっぱり・・・うそも方便いうから大丈夫や、だまして金をとるわけじゃない。

メンバー：

笑

北野会長：

すべからくそうさ。お宅の課長は決済が早いからとかさ。そういう、やっぱり遠回しに言われると担当者が帰ってさ「課長、何かえらい決済、早いって、きょう、お客さんに言われました」っていうやろ・どこの誰やとこうなるやん

真田 孔明：

特に銀行マンってほめられること社内でないですからね、一切・・・

北野会長：

そう、叱られるだけの人生を送っとるから・・・

真田 孔明：

サラリーマンって、売上を達成しても怒られるんですよね？サラリーマン行き過ぎると・・・計画が甘いって

サツチェル：

行き過ぎても 笑

北野会長：

あれはだから一つの部品やから。壊れるまで、だから追い込む。本当にすごい部品やよ・・忍耐強いしね。もう学生時分から・・だから、この中に東大出はおらんでしょ？万が一、おったら言うてくれ、手を挙げて。いや、俺、東大やけどとかさ、京大やとかさ。だから、そういうことなんやて、世の中、みんな一緒

真田 孔明：

会長が東大だったのは、受けました

北野会長：

俺が灯台なのは間違いないわね。いつも魚釣りに行ってるもんね、小さいときから。灯台出。まあ銀行、一番の皆さんの見た感じ、まだ銀行とは浅いみたいやから。まず、銀行を取り込む方法やろね、会社をつくる。金を引っ張る。最初は国金やけど、次は銀行やから。それを上手に使えば楽やね。でも、自分で一から金もうけをするってひどいよ？ましては会社勤めして金ね、預金するほどためるいうたらひどいやろ？そこをどう考えるかでね。給料を100万もらったって4人家族やったら、源泉引いたら20万とも残らんよ・・4人家族でね。だから、やっぱり金っていうのはどう頭の中で計算を描いておくかやね。証明はそこでない？今、持っている金、ここに違うと思うけれども、今、何億か持っていて、月200万そこそこ入ってくるんやと・・こう思う人はそんなに今、必死にやらんと、だらだらしとったほうが残る

メンバー：

笑

北野会長：

本当に。だらだらしとるっていうのは本当にね、金を使わんから。月に200万ずつ入ってきとりゃ、まあ、そんなに人生、慌てることもない。こういう具合に心が落ち着くからさ。失敗しないようになるがやて、よく考えるようになる。だから、金っていうのは本当に麻薬のみたいなところはある。今もね、人口がふえると70億からどんどんふえる。あれ、どこでも戦争を何か始まっとるやろ？あの人たちにお金をあげると誰も戦争しないようになる。わかる？人間の心理なんてみんなこんな簡単なもん。奥さんにも一緒やよ。お前、ちょっと服でも買ってきていいうてぱんと銭をやりや奥さんの顔はすぐに笑顔になる。だから、ちょっと豪勢な生活をさせておけば家庭平和の・・あとはお前、まめによいしょにプレゼントみたいに、日ごとにおだててよ、かわいい、きれい、孔明がそう言うもったとかよ？

メンバー：

笑

北野会長：

孔明も株が上がる。名前を使うごとに株が上がっていく。そういうことが一番大事。まず銀行の取り込み方。今やっとる商売はみんなてんでん違うと思うから、そこ・・あとは難しいやろ

ね。どうやって金をつかむかは個々に違っとるから。そこまではお互いに隣やら、1カ月に1回、会う人と自分のトラブルを聞いてもらったりさ。言ったり聞いたりしとれば大分、調整できるんでない？これは勤め人の人とそういう調整はできんよ。番外編の人ばかり・・・番外編の人はこのコップのお金をとることができるの。円の中にいる人はこれは絶対にできないんやから。だから、そこらをどう考えていくかやね。でもね、一度、円の外に出てしまうとね、なかなか中に戻れんのやてね

メンバー：

う〜ん

北野会長：

行儀が悪くなってしまって。行儀作法がもうだめね。会計をやっとる先生ですら、昔から見たらもう行儀はなっとらんよ。だから一番の問題はそういうところでないかなと。あとは金をふやして、2%ほどで月に回しておれば要は金額のグロスが一番大事！ボリューム。だからボリュームをふやしていくしかこのゲームには勝ちはないんやて。私が言っているのは投信ともう一つは物を買ったり売ったりできるただのスタンスね。これを絶対、身に着けておいてほしいなと。これがないと勝負になったときに勝てない男になるがやて。いいときあったんやけど、あのときに勝負できなかった・・・必ずこうなるがやて。わかった？サッチェル。そういう人たちおるやん。やっぱしね。現実。俺の周りなんかみんなそういう人、多いよ。きっとあなた方も失礼やけど、同じでないかなと思うんやて

真田 孔明：

僕も真逆を行いますね、売らなきゃいけないときに買って・・・

北野会長：

ところがね、それがものすごい心、心情的にやりやすいんやて。下がったときはもっと何か下がるような気がしてさ、買えないやろ。上がったときはあしたも上がって、2日も上がったから3日目に買ってさ。4日目にちょろっと上がってどぼんといくがやて。こういうレースが多い。誰に聞いてもね、例えばさ、山に友達がさ、「栗がたくさんあの山に行ったら栗がなっていたよ」友達が言った。あ、あの山に栗がたくさんなっていたんやと。みんなで行くやろ。栗はある？栗はそこにある？

真田 孔明：

ないです

北野会長：

ないやろ？だから、俺はたったこれだけのことを何で日本の国が一生懸命、教えないのか不思議や。みんな、そこに行くんがやて・・・なぜか・・・みんな。その山へ栗を取りに行く、絶対がないわけよ。だから、この基本的なことだけは一つ習得してほしいなと。簡単なことだけど、ものすごい難しいやね。その下がり、上がりと同じで。すぐね、金っていうのは、馬の背中に

乗ったぐらいでさ、金がお客さんを振り落とそうとするがやて。動いていた馬の背中っていうのは誰かいて言うたら自分の心なん・・・わかる？自分の心が自分を揺らしとるんやて。だから、すごく落ちやすくなるとるが

メンバー：

おお～

北野会長：

あと何か誰かさ、ここはどう思っているのみたいなことがあったら言って？ほとんど俺、一方通行でしゃべっているから、遠慮せんでええよ

サッチェル：

じゃあ、よろしいでしょうか？株なんですけれども、きょう1,000円を買って、翌日1,200円上がったとして、200円、得するじゃないですか。その次の日、1,300円になったときに。1,100円に下がったとするじゃないですか？そのときに1,000円のほうから売っていくんですか？それとも、その辺はあまり考えないで感覚でバランスをとって・・・

北野会長：

もうかればいくらでもいいの。私が言っているのは売る気持ちな、気持ち。それを毎日、身に着けておいてくださいって言うたの・・・売る気持ち

サッチェル：

特に今日何株買って、あした何かを買ったみたいな、そういうのはつけたりとかは？

北野会長：

全然しないね

真田 孔明：

ハワイでおっしゃっていたことで、会長はipadを開いて青だったら全部売るって

北野会長：

あのね・・・

メンバー：

何台でやるんですか？3台？

真田 孔明：

3台

北野会長：

最近ね、携帯電話と置いてさ。こっちで音楽をかけながら・・・ハワイアンを聞きながら。嫁はん、ちょっと頭くるっとるんでないか言うけど、これが波乗りで・・・俺は本当にそう。朝、例えば8時、9時ごろまでに起きるんやて。それでゴルフがあるときは、パッと見て、青いやつはこっち画面・・・ヤフーの画面を置いておいて上がったやつを自分の例えば楽天のほうで引っ張って、ただ、押すだけ・・・わかる？そんなね、何円、上がったとか、あしたはどうなるってね、きょう落ちておる金はきょう拾ろっていくが・・・俺はそういう主義。もう一つ、きのうも言っていたけど長期的、長期戦でさ、この会社はどこかではドカンとこう吹き上がるんでないかと思う株は今度はため込みをやっていくわけ

真田 孔明：

溜め込み

北野会長：

例えば、将来的にこれはおもしろいとかさ、もう一つ、いい会社の選び方。もう一つはもう潰れるんでないかという、きのうも話したけど、そのところで買い支える・・・これが一番安く買えるわけ。この安く買った株は多少、上がっても売る必要はない。皆さんは知らんけど、東電は昔ね、8,800円ぐらいまで上がった実績があるんや。だから、8,800円ならんでもいずれは復興すりゃ配当金も昔ぐらいには出すだろうということを念頭に入れて株集めをしとる。まあ集めておきゃ・・・ところがね、ただ、刀で切るいう状態よりも、俺は毎日の・・・要は勘、勘を養っとるだけ。あと俺も目的があるんやよ、目的はある。だから、例えばアメリカバンクが昔ね、ここ3年ぐらい前に2.5ドルぐらいまで下がった。80円で計算して2.5ドル言うたら200円や。今いくらかいうたら12.5から15の間を行ったり来たり。だから、どこで勝負できるかっていうのは経験と勘と一番大事なのは後ろを押してくれる度胸なんやて、金があれば誰でもそういうことができる。無い金でぎりぎりの線を勝負せいうとやっぱりできん。だから、サッチェルが言う自分で買った値段よりもあした下がったら困るからいうてやっぱり投げる人がおるわけよ

真田 孔明：

生活を考えちゃいますよね

北野会長：

現実っていうのは本当に嫌な感じでみんな同じでねえ？わしは二十歳すぎから株をやっとったけど、この見たとおり、いけいけやから、やっぱり突っかかるやてね。私が相場を売っていた二十二、三歳からダウは6,000円以下やった。まっすぐ4万円にいったからね・・・まっすぐ4万円。皆さんは腹の中におったかおらんだか知らんけども、もうそんな時期。4万、39,800円まで。だから、皆さんに言うたら失礼やけど、友達同士がさ「きょうお前、ダウいくら上がった？きょうあんまり上がらんだ、1,000円ほどやったかな？」そんな感じやからね、会話が。「お前、きょうダウすごかったね」きょういくら上がったの言うたら「2,000円ちょっと上がったよね」こんな会話が普通やから。200円、300円ったらもうね、ダウが20円上がったという話と

同じぐらい。だから、ああいう強烈な時代を生きると今はあんまりおもしろくない。だから、きのう上海の夜景を見てさ、上海がおもしろいでないとかさ、言っているのは、ばかなような可能性もあるやろ？だから、経済っていうのはビルの上に黄色いトンボが立っているやろ。トンボ？（クレーン）あれが例えばジョホールバルに行ったらたくさん動いとる。もう上海はパッと俺ぐるぐるあそこを見ていたんやけど、もう10個ぐらい。もうほとんど落ち着いとる。これで、だから空が青くなれば一番発展するんじゃないかなという

メンバー：

きょうは青かったですね、朝とか・・・

メンバー：

青かった

北野会長：

そうやろ？あとは料理でも、わしは恐らく二十四、五から来ているんやけど・・・ここへ。ここプートンなんていうのは田んぼと、田んぼにもならんようなところでさ、草だけが生えていた。それがこうやからね？だから、道路整備、それから歩道、東京に負けんぐらいこう整備されとる

真田 孔明：

僕が来たときの2006年とかに、2004、5、6年ぐらのプートンはコーヒー店に入ると裸の女性が乗ってくるみたい。え、何ここみたい。そういうお店ばかりだったの、プートンっていうと。普通に喫茶店だと思って入ると違ったみたい。今だとそんなの逮捕されちゃうんじゃないかね？もう。それがこうなっちゃいましたもんね。10年で・・・

北野会長：

だから上海万博であそこで底を打って、だ〜んいうて上がってしまった。日本も一緒やよ？39年のオリンピックから弾みで上がったんやから。あと、次・・・何か議題がこう出ると・・・

真田 孔明：

ちなみに上海の株を買うときってどこから買われているんですか？上海に投資する・・・株とか

北野会長：

上海はね、一番多いのは俺は東洋証券

真田 孔明：

東洋証券。日本からもそれも買えるんですよね？東洋証券

北野会長：

それは、今はどこ・・・楽天でもなんぼでも買えるんやよ。効率よく買える。ところが、やっぱり昔から東洋証券のコードを使っているもんで。それで、昔はどういうの。ボタンを押すと会社で一番、資金総額が多い会社からぱっと出るがやて。中国のやつは・・・それで一番大きいのはね、俺流に言わすと昔、難しい名前はわからんけど。そこから順繰りに全部とった。あぶく銭をつかむとこういうばかなことは簡単にできる。これがだからあぶく銭の力。総額の多いやつから順番に買い込んどるが。あとは梨のつぶてさ。こういうのがね、全てはね、きのうも言ったけどつかんで逃げて切り抜けなきゃね、金っていうのは残らん。皆さん、もし、それ以外で残るとしたらそれはものすごい新しい手やわ。いくら会計の先生が計算してみても金っていうのは残らんようになってるんや。どんないい弁護士をつけてもね、金っていうのは残らんようになってる。働いたあとから取りに来るやつがおるから

真田 孔明：

ちなみに2008年に大きく落ちたんですよ。中国株が・・・僕も2004年から実はずっと買っていて、2007年。リーマンショックか・・・10分の1になっちゃったんですよ。あのときって持たれていたんですか？そのときも？

北野会長：

持っていたよ。買ったものは持っていて、安くなったからいうて、また、買い増ししとるから・・・

真田 孔明：

買い増したんだ。また。10分の1になったときに・・・

北野会長：

だから性格が悪いんやて。ダブついとる金があるとこれもほかでもわかるわけ。その会社はじゃ、銀行？そんなもん潰れるがないやろ？潰れるわけがないんだもん

真田 孔明：

あのとき全部、自分の10分の1ちゃったんですよ。中国株が・・・

北野会長：

それでね、白物家電・・・何せ二、三十円やて・・・みんな株が。だから、自分で番号を入れるから事務の者にお前、これ全部10万株、全部入れておいて、押しておいてくれと。それでも金が残っとるんやから・・・見たら

サッチェル：

押すほうもびびった？事務的に押すだけ・・・

北野会長：

それできのう言ううったマレーシアのセブンイレブンを何で買ったかいうたら、その昔の甘い思い出があるわけよ・・

真田 孔明：

中国株のときの？

北野会長：

ぼろ株を買ってさ

真田 孔明：

僕もそのときに本当に10分の1になったときに売ろうとしちゃったんですよね。そのときにちょうどお客さんが香港の大富豪でお客さんなんですけど、それで全部、10倍、買えって言われてそのときに入れたんですよね。そうしたら、そのあと5倍に上がったんで、その底辺から。結局は勝ったっていう。あれはやっぱり、あのときの心境は入れられなかったですね。僕の判断だと・・逆で。10分の1になってったのに・・怖くて

北野会長：

人間っていうのはびびったらもう終わり・・

真田 孔明：

本当に不思議ですね？あれ。冷静に考えれば10分の1になっているんだから、ちょっと戻っただけでも当たりなのに・・

北野会長：

だから人をさ、殺してやろうと思うのと、殺されるかもしれないってこの違いやね。なかなか普通の人は人を殺してやろうなんて思わないね、わかる？たったこれだけ、経済は。とるかとられるかやから・・本当はね

真田 孔明：

あのとき心境はおかしいですね・・

北野会長：

だからよ、8,000円のときにさ、4万円から8,000円になって、俺その途中もたくさん買ってあったんやけど

真田 孔明：

回さないでっていうことで・・

北野会長：

ものすごくね、買いにくいね、日本株が。下がっていく・・・もっと下がるんでないかなという。同じことをずっと思ってた。だから、その勝負に、印刷ね。80兆を印刷するという情報を入れたときに何でもいからまたでたために買って、もし、飛んだら夜逃げせにゃあかんかなと。信用取引をできるだけ目いっぱいふやして、ボタンを押すだけやから・・・俺の場合は。もう、乗るかそるかでいくわけよ。皆さんはせんほうがいい。気が弱かったら自殺せんといかんからね

メンバー：

今、新規の人だったら・・・例えば新規の法人をつくって例えば2,000万を回して、の案件に入れてっていうところまでは多分、ストーリーが今できつつあると思うんですけど。この先、どんな感じで運営していくのか？シミュレーションというか・・・

北野会長：

基本的にはさ、真実は一つつていうから。みんなも、皆さんもわかっと思うけれども、借りたお金を氷漬けでは決算書はとれないやろ？そういう問題が出てくるわけよ。でも、法人をつくったところには電気、水道、ガスは証明できると。じゃあ何の商売をしようか？商売はだから下手に手を出すとみんな損するわけよ、損するの。商売っちゃ、損するために経済は動いとるんやから。もうかる商売があるかいうたら、なかなかない・・・本当に。なので残された分野なんてほとんどないんやから。隙間が少ない。そういうことを考えてもし商売に手を出すのであれば、私はいつも皆さんに言っとるのはゆっくりと考えて図面を書いて、こうしたらどうだろうとか、そういう本当に小さい利益でいいから積み重ねていくようなことを考えないと本当に嫌な話やけどお金をもらってから商品を送るぐらいの気持ちでないとね、孔明さんの言うこの簡単に大手企業の気持ちで5億ぐらいばっと動かしたけど、5,000万ばんと吹き飛ばされて、また飛んでイスタンブール

メンバー：

笑

北野会長：

こういうことになるんやて。商売をやっていると。だから、一番危険なのは安易に商売に手を出すと一番痛い目に遭う・・・安易に手を出すと。だから、それが90%、99%倒産する元なの。初めて商売をした人をだますのはいとも簡単なの。世の中には8割の詐欺師がおる。だから基盤づくり。借りて投信に弾を入れるっていうのは会社があって、堅実に回っていて、何でもいから実態経済を持っている人ね。例えば彼が洋服屋さんを持っていると。借入はできたと。それで例えば利益も20万ほどあるとか・・・その自分の給料の中で20万ぐらいなら返済できるから1,000万弾を引こうと。こういうのが一番やっぱりね、彼の言う借りたものが蓄積して残っていくがやて。それが1億でも同じ、ただゼロが一つ違うだけ。だから、身の丈以上のことをするとやっぱり危険が及ぶ。だからやっぱり身の丈ぐらいにしておいたほうが一番、安全

メンバー：

う〜ん

北野会長：

俺だったらじゃどうするかっていうこの結論から言うと、俺だったら借りたお金は借りたお金。ばんと投信か何かで1パーでも、月1パーでいい。10万ずつ入ってくると。決算書はどうつくるか？考えない。きのうも言った、きのうも言うたや。51から50を引けば1残る。先の3年なんてね、100万でも30万でも10万でもええわ。利益を上げておけば。次の借入のときまでに対策を考える。これぐらい心が広いからね、こういう気持ちが多いわけ。だから、ものすごい気が楽なんや

メンバー：

2回目の融資はどれぐらいのタイミングで考え・・・

北野会長：

それっていうのは実態経済の先生が自分の決算書を書いた実態経済に基づいて相手と話しをしないとうまくいかん。テンブラみたいな話を出してさ、メインはいっぱいちゃね、こうやって見ると。取引先のメインは・・・見えた？今？誰から見ても放射線状に人がおるわけやから

真田 孔明：

取引先が・・・

北野会長：

取引先や。みんな取引しとるやない、そうやろ。だからそれと実態経済とどう結びつけるかとかさ。弁護士の先生に頼んで、返済できんから、延ばしてくれという書類を書くのは一番最後でええんやて。俺がなんで先にそれを最初に皆さんに言うたかいうたら、返せなくなったときには自殺する必要もなくて、弁護士のあの先生に頼みに行けやええやん

北野会長：

いいメンバーなの。ここにぎりぎりの生活をしとる人も一人おるし・・・

真田 孔明：

助成金経験者 笑

北野会長：

でもね、起業するのに助成金で起業すると7割は国が守ってくれるね。銀行も寛、な目で見てくれる。多めに。それ以上に悪いことをするからケツをぼわれておる。どんなもんでしょうか？この解説で。笑 でも、助成金もね、先生が笑とるね、一番最後になんとか補助金か何かもらうと、上げておかんといかんでしょ。あれも永遠にもらったっていう証明みたいなもんで出てくるんやてね。あれ何か俺の懐に入るようにできないかと俺もしょっちゅう思っとるんやけ

ど。うちも助成金いっぱいもらっとる。どうしたら、それを何かうまくいかなかなと思うんやけど。何か永遠に難しいね

メンバー：

う〜ん

北野会長：

弾回しやから、先生、この間、1,000万ずつ買うのを500万ずつになったって、そういうものを積み重ねていくわけよ・・本当は。それで、配当金でなるべく返済せんならんお金があったら返済時期を遅らせば自分の勝ちや。今ならどう見たって1.5はいらんでしょ？借入に。年間1.5なんでしょ？そしたらゲーム的には勝つゲームなんやちゃ。だから、そう思ってゆっくり考えればいい。あとは。ゆっくり考えるの。どうしたら言い訳できるとかさ。どうしたらこの返済の銭をつくるかとかさ。それをやっぱり捻出して計画を立てたほうがいい。きのうも設計図から先につくってくださっていうのはそこやて。そんな四方八方にさ、線立ててもだめ。計画的にこの財源はこういう具合にして返済期間を長くするとかさ？最初、ハワイで言ったように電車の長さを1個ずつ返済していったらさ、ここに来たら2個ほどずつ融資してくる銀行を探すとかさ？もう決まっとんや・・経済は。人間の輪を広げれば広がるほど資金量はふえるやろ。これを言ってる。このゲームは資金を持った者が勝ち。これは日本の国も同じ。皆さんもわかっているとおり、日本の国もみんな酢いうことやっとる

メンバー：

やっぱり実態経済と数字のマジックとのバランスというか・・

北野会長：

でもね、しょせんはね、実態経済に近くなっているがやて。いくらさ、孔明さんがさ、はさみでばんなてね、言っても、電気、水道、ガス、給料、そういうものってかかるものはかかるわけやから。私が今やっているね、例えば代表者をしている会社でも給料はとらない、株も持たねえ。こういう方法もあるんや。だから別に代表者やからいうて、霞を食って生きとったって関係ねえんやから。だから、そういう具合にして利益を出していくのか、実態経済で利益を出すのか？出せるのか？だから、やっぱり慎重にやらないと失敗するよ

真田 孔明：

支出が一番あと

北野会長：

今ね、本当にね、取り込み詐欺あるやろ。もしもし詐欺で。あれぐらいうる？今もうかっとるのは？あとののは、そんなもうかる産業はないよ・・本当に。もうその中でも今こう皆さん出席しておられる方は金回りがいいわけや。一般の家庭でさ、投信なんか買えるような優雅な人はいないやろ？だから、今の実態経済に投信を買えるほどやからあとは無理せんとちびちびと。ただ、伸びは借入を起こしたほうが早いよいう話をしとるだけであって、俺が言ったからいう

て借入をどんどんふやしてさ、そのうちパンクして自殺して、香典を持って孔明に行ってくれて言われても、嫌だからの 笑 そういうのっていうのは多いんやよ。ブレーキが利かない経済っていうのは大体、失敗するがやて。きのうもネット社会の人たちみたいなこと言っとったけど、急にぱっと上がるやる？俺のところもういいよ（酒）

真田 孔明：

新しいやつが来ちゃった（酒）

北野会長：

そうするとやっぱり舞い上がる。まだちょっと脇の固い人はシンガポールに逃げたりさ、ぱんぱんと逃げて国税が来る先に手仕舞いをかけて逃げるわけや。ところが国税から逃げたと思っとるけど国税はずっと見ておるんやてね。ずっと見ておるの・・あれ。金をつかんだっていうことがわかると。必ずいつか復讐戦に来るから。これが怖いよね？だからヘビに狙われたカエルいうけど、嫌な雰囲気やね。だから、皆さんもどんな銭を持っとるのか知らんけども、危ない銭があったら早く楽なとこ、気は抜かんほうがいいよ・・何か深刻な顔して聞いとっけど。危険な金を持っとるんでないの？

メンバー：

笑

北野会長：

今、1,200万を持っとるなら10年かけて1億2,000万、そういうようなスタイルがまだ若いんやから、今1億2,000万持っとりゃね、10年ほっとけばそんなもん10億になっとるんやから。そういう考え方のほうが楽できる。そこらが心の中にあると余裕ができるから。銀行もね、余裕のある人を見たらすぐにわかるんやて。人はみんな顔に出るから。辛い顔をしとったら誰も寄って来んよ。女でもそうやろうがね。「俺、銭余っとるんやから」言うがとさ、「お前、悪いけど、きょう何か食べさせてくれない？」嫌やる？そうやる？何かね、お金、1万円でもいいから貸してくれなんて最悪やよ。だから、お金だけでも余っとるいうだけでも人は引っついてくる。お金だけはないって言うてみろ。本当に一人も来んよ。無いもんは金だけやとかいうて自慢しとってみろね。後ろを向いても女もおらにゃ男もおらん

メンバー：

はい

北野会長：

株をやって丁半博打みたら株は資金量によって1,000株とかさ、高い株なら100株とかさ。毎日、売り買いの練習をするために持っとって。それでもうかるようになったら三つとかさ、五つとか。絶対に日経新聞を全部、見ながら注文するのはやめたほうがいい。目が斜視になってしまうから。絶対に負ける。限定銘柄

真田 孔明：

素人は一つだけ

北野会長：

一つから始めるとね、ipadに入れておくがやて。ぱしってしたらすぐに出るやろ、あれ。上がった下がったいうて。そうすると毎日一緒のもんしか見ていないんやから、よくわかるんやて。1個しか見ていないから。これ300円・・・200円・・・毎日見とる・・・数字ね。誰でもわかる

サッチェル：

きょうは安いのか高いのかって・・・統計がとれますよね？その感覚で・・・

北野会長：

それで二、三十銘柄いけるようになっても見える。高値で売ったけど、だらだらと安くなったと。そしたらまたそれを買えばええやん。下がったら買うやろ？あんたたちこんだけ酸っぱく言うとっても、また上がったら一生懸命で買うやろ？笑

真田 孔明：

笑 今まで何度やったことか・・・それを。株の売り買いってこの中で毎日やっている人とかいるんですか？毎日やっているんですか？

メンバー：

暇だから・・・

真田 孔明：

あっ暇だから・・・

北野会長：

だから、言うたやろ？株が一番、暇人に向いた遊び。これ仕事じゃないんやから！

真田 孔明：

仕事をやりながらやっちゃうとつい忘れてしまったりするんですよね？株を開けるのとか・・・

北野会長：

だから注文ができるということは頭がやっぱり聡明ちゅうもんかさ・・・晴れた空のがやて。だからそれができるようになってあとお金を得る、掴む事ね・・・掴む・・・ぼんぼんと掴むことさえできれば人生は簡単やろ？青か赤、二つしかない 笑

真田 孔明：

あの投資は斬新ですよ。チャートも一切見ないで、開けた瞬間にたたくっていう。緑になったら全部

北野会長：

開けた時間でええんやから・・・あれは

真田 孔明：

それがいくらとか関係ないですもんね・・・結局

北野会長：

俺はね、絶対にプラスにこだわらない男。例えばプラス1円やからきょう売らないとかさ思うやろ？俺のところは何でもええ。もう売って、売って打ちまくる

真田 孔明：

それでも毎日開けるんですよね？

北野会長：

毎日、開けるよ。だから9時に起きても9時半、ゴルフ場にスタンバイが9時半なの。それまではプラスやったらだっと売りを・・・マイナス赤やったらダウ平均が赤い。上がっている株も少ないと・・・あまりたたく仕事がないの。今度、帰ってくるやろ？もうゴルフ場でもさ・・・赤やから今度は買いにいかんらんやろ？忙しいんやて。売り買いっていうのはこれぐらいね。だから、三寒四温の3日目、下げたらゴルフなんかしとる暇ないね。コード番号を覚えるの嫌だから1万1,000株とかさ、1,000株の端数を買ってる。常にパソコン上に残っとるやん。これくらいナマクラなの。番号を覚えたくないから・・・

真田 孔明：

視覚的感觉でやっているんですね・・・これ？

北野会長：

それでさ、朝、売ったけど、3時ごろ見たら下がるとるがやて。また買っておこうかなみたいなもんで、こういう感覚やからね。その次の日も下がることもある、でも知らん顔して。そのときも必ず心に言わなきゃ。俺は銭余っとるから。そういう細かいことにね、とやかく言わない。こういう具合にね、これをうまい裁きできるとね、ものすごい感覚的に強い。だから、皆さんには銭余っとっから言うてね、口癖にせいうのはそこ

真田 孔明：

銭、余っとるから

北野会長：

銭は余っとっから。この一言でもものすごい人間は強気になれる

真田 孔明：

本当に女の子の前で言うの怖いですよ・・・これ。逆に 笑 いくらでも吸い取れそうで

北野会長：

それも喜ばしいこと

真田 孔明：

喜ばしいこと

メンバー：

笑

北野会長：

人間っていうのは本当にね、難しいもんでさ、どういふの？ネットの業界から来た人、二人ぐ
らいいなかった？ネットをやっている、二人・・アフリエイト

真田 孔明：

アフリエイト

北野会長：

難しい世界の人やね？

真田 孔明：

アフリエイトですよ？あっ広告事業です

北野会長：

でもキーボードをたたくのはプロなんでしょ？それをピアノを弾くようにキーボードを弾いて
さ、金を吸い上げる練習をしとってくださいよ。頭を下げて物を考えたり出荷したり、出荷す
るなんて伝票を切るやろ？売上傳票を切ってさ、番号を入れて売り上げて、コードナンバーを
入れてさ。金額を打つやろ？そんなことしとるんやったら俺、株をして遊んでおったほうがよっ
ぽど金がかもうかると思うよ。金なんて落ちとるんやから・・俺の原理から言えば。落ちとるん。
それを難しくね、上がったら売るとか、下がったら損したとか言ってばかなことを思うから、
まず、頭の中に金は余っとると。ここを毎日、言い続けるがやて。金のほうがくつついてくる
やて・・

真田 孔明：

まさに

北野会長：

金がくつついてくる。俺はいつも思うんやけど、俺の前にはな、あまり金はねえ。俺の背中、
ちょっと後ろ、こうやって見えないけど、背中には金がいっぱいくつついてきとる。だーっと。
なぜか言うと、毎日人にさ、「金が余っとるからさ」こうして毎日、これを言い続けることに
よって金のほうもやっぱり俺のほうに集まってくる。一言違ふと人生は全部違ふ

真田 孔明：

すらっと出てこない 笑 「好きなものを食べてね」口に出しておかないと忘れちゃう・・・ちゃんと。呪文のように・・・お経のように

北野会長：

そうそう、まず本当はね、酒を飲む、料理がきたら、「きょうは●●ちゃんのためにこの席を設けました」と、これぐらいさらさらと毎日練習しておかないと出てこんよ。孔明なんか、100回、言うていてもこの程度だから 笑 これいかにうちで練習しとらんかが出てくるんやて。本当にね、簡単と思うけども、ものすごい難しい。慣れとると慣れてないのとは。だから、花の1本をどうやって人に贈るかっていうゲームと一緒にやるが？足を折って花を1本渡すと。お前からみたいに背のでかいやつが上から目線でこうやって渡してじゃ全然違うやる？その先には「きょうもきれいですね」と。一言を言うのと言わんのでは天と地ぐらい違うよ。1本のバラが2本に見えっかもしれないけど 笑

メンバー：

笑

真田 孔明：

涙で 笑

北野会長：

あとは何か誰か・・・何か質問ない？こんなの聞いてみたいとかさ・・・ばかな話が一番好きやけど・・・

真田 孔明：

持ち株会社にするタイミング？持ち株会社っていうか株を例えば別の人が持つタイミング？あれはやっぱり1回、新規創業を引いてから次に6カ月、1年たってプロとして申請するとき以降に株になるんですか？それとも最初の新規創業のときからもう株主になっていますかね？新しい会社をつくるとき・・・

北野会長：

持ち株会社・・・株式会社か？

真田 孔明：

株式会社

北野会長：

それは最初からやる？例えば、13人いると。100万ずつだと1,300万の会社になる。今は、どここの銀行へ名義人の振り込みがあるんやて、昔はこれがいらなかった。昔は司法書士さんが100万しかなくても1,000万の会社を作ってといったら、すぐにつくってくれる。そういう

不正をする人がたくさん出てきたもんで最近はだめよ。最近は各自の名前で振り込んで、それから株式会社の登記しかできないようになっている。だから、司法書士の先生と手を組んで登記、会社設立はやっぱり司法書士の先生に頼んだほうが楽でええやろ？10個つくるからいくらししてくれとかさ、やっぱり交渉したほうがええん。だから、アフェリエイトをやっているても事務所はあるし、電気もガスも全部使っているから、法人化をつくって、法人をまず上前つくれ。一部アフェリエイトのコンピューター業務ちゅうことだな。それをやっていると。新規事業の立ち上げ。もし、わからんことがあったら隣に服屋さんがおっから、どここのメーカーさんから服を仕入れてこうやって売る予定やと、ネットで。うそはないやろ？うそをつくどいんやて。うその上塗りをせんならんから。これ一番ええやねん。全然、問題ないでしょ？自分のノウハウでええんやから。これからはできたら今、ネット販売を中心に考えていますと。2年目の作戦でええんやから

真田 孔明：

そうか、2年間、寝かしておけばいいんですね

北野会長：

そうやないかい。

真田 孔明：

確かに銀行の支店長も言うけど。融資部門長も言うけど、2年間、別に赤字でも普通だと。赤字、赤字、黒字でOKっていう・・・3年目から。言ってますよね

北野会長：

だからちょっと頭を使えばなんぼでもそんなこと

真田 孔明：

これ例えば、2社目をつくるときに・・・違う。例えば、新しい人を雇ってその人に新規創業させるっていうときに自分が海外とかにいるので、これはもう最初から株主になっていいんですか、これは？

北野会長：

全然、問題ないよ。株主っていうのはお金を出す人のことを株主。真田孔明、例えば1,000万の株主。先生が1,000万、1,000万と1,000万だから共同経営者。こういうことになるがやて。それで例えば目的は洋服販売とかさ。インターネットを使った。ラーメン屋も書いて・・・10項目できるから・・・登記は。何でも適当なことを書いておけ。思いついたことを。別に司法書士の先生に聞けば、なんぼでも教えてくれる。不動産業、それから賃貸業、販売業、いっぱいここに丸をつける・・・10項目。こういうことさ。だから一番、金を引きやすいのは創業資金やから

真田 孔明：

創業資金ですよ。このときに株主がいてもいいんですかね？株式会社に。創業資金で例えば独立起業して。社長と別の人がいていいのか。例えば社長がうちの弟でサッチェルとうちの嫁さんが株主になったと・・・これで創業融資って引っ張れます？

北野会長：

全然問題ないよ。そんなの関係ないもん

真田 孔明：

こういうのあります？普通に？最初からそれにすりゃいい

サッチェル：

何か社長の信用でしか創業融資は取れないって・・・

北野会長：

そんなことはないよ

サッチェル：

社長が自己資金を持っていないと

北野会長：

社長が自己資金を持っていない。一番いいのは社長が出資者が日本におれば大丈夫うやけど。代理社長もおる。そんなこと言ったら今、日本の国の社長って・・・5人もおらんやろ？自分で資本金を出してやっというのはな。だから、自分で会社をつくっても自分で働く必要はない。代理でいいんや

メンバー：

今そちらは社長を雇ってうちの母親を株主として、次の会社をつくらうかと・・・これで創業融資を考えていたのですが、別々だと創業は引けないって言われて・・・

北野会長：

ああ、別々だと。お母さんが株主ではまずいと・・・

サッチェル：

ではないのかなと・・・

北野会長：

別にだからあんたが社長になっても何も問題ないんじゃない？

メンバー：

僕はほら、非居住だから。海外居住者・・・僕は日本に住所がないので・・・僕・・・

北野会長：

日本でやるの？商売を？

メンバー：

それは日本の話で・・・

北野会長：

ああ、日本の話

メンバー：

社長を雇ったんですよ。その社長で、株主をうちの母親にして会社をつくっちゃったんですけど、これで創業融資を引こうと思っていたんですが、社長と株主が一緒じゃないと引けないような話をきのう聞いたので、慌ててちょっと・・・

北野会長：

とりあえず、だから国金・・・

メンバー：

国金ですか？

北野会長：

行ってその話をゆっくりとすると。自分は、ほかの事業もやっているもので、とりあえずコントロールのきくシステムをとっとるんやと。資金については完全に資金計画はできとるんやと。もう鉄板焼きやて。孔明さん、得意やから。鉄板焼き。返済の自由みたいなことを言うてさ。一応、そういう言葉でもはっきりそう言うのと言わないとは天と地も違うんやから

真田 孔明：

株主も一緒に行ったほうがいいですかね？その場合、創業のときってね・・・

メンバー：

あまり株主は重視されない？

真田 孔明：

そうなんですか？株式会社で創業融資を引っ張るときに・・・

北野会長：

一般の株式会社は誰でも買えるんやよ・・我々は、1,000株でも1万株でも100万株でも買えるわけだから、そういうのは関係ないわけ

メンバー：

孔明さんとサッチェルさん、その弟さんの会社に出資されたとか・・いくらぐらい？

サッチェル：

資本金100です

真田 孔明：

給料をいざというときに全部、保証するよっていう。何かあったときに・・

メンバー：

例えば何百万か出資しました。それって贈与とか？

真田 孔明：

違うんです。そんなには。100万。実際は・・

メンバー：

何百万・・

真田 孔明：

実際1,000万、引っ張るのに今10%ぐらいでいいみたいなんですよ・・実際は。融資部門長いわく・・銀行はもっとって言う

サッチェル：

銀行はね、半分

真田 孔明：

公庫から借りたお金を置いておいちゃだめなんですよ・・それは。それは見られるの？銀行は？

サッチェル：

だっていないじゃんて・・。1,000万円同時に・・

真田 孔明：

同時にやっているからね、同時やっているんだ

メンバー：

公庫なら10%だったら・・

北野会長：

100万の資本金で1,000万引いたの？

メンバー：

1,000万です

北野会長：

すご・・・そんな悪いことできない。わしわ

メンバー：

笑

真田 孔明：

もう誠実に書いただけですよ？その通りに・・・

サツチェル：

今は、そういうふうになっているみたいです

真田 孔明：

あれなんですよ。融資部門長に書いてもらったんですよ。文章っていうか・・・最初のフォーマット。某銀行の役員さんに

北野会長：

一番固いのはそういうことなんだよね

真田 孔明：

その人にでもお金をちゃんと僕が個人で渡しているんですよ。でも、これ1回フォーマットを手に入れちゃえば、ほら、ゴールドメンバーにアップしているじゃないですか？あのFacebookに。まさにあれ、融資部門長に書いてもらったフォーマットなので・・・融資の。あの通りやればいいんですよ。何か変に表紙とかつけたら落ちる 笑 あの通りの・・・すごいA4の半分ぐらいで済んじゃうんですよ・・・あれ。事業計画書とかで・・・適当な・・・

サツチェル：

うちは2商品だったので2枚になっちゃったんですけど。基本は1枚で

真田 孔明：

事業計画。でもやっぱりあれですよ。今だと安い単価の商品をいきなり僕たちみたいな人が1,000個売ろうっていうので出すより、もう100万の10個、これの計画書が一番いいんですよ。100万の5個とか。だっていきなり会長みたいな会社で、もうベースがあって何かイメー

ジが1,000個売れるとかそういうのだったらいいんですけど、普通は1,000個って売れないじゃないですか・・・物が・・・普通の人がやって

北野会長：

だから、点の高に点を打って吸い上げるのか？点の下に点を打って吸い取るのか？それはどちらでもできるわけよ。だから、点と点で三角形をつくるっていう話を何度もした。今度、円の中から銭を引く・・・銭をつくる、ね。下の点につくるのか高の点につくるのか。高に点を打てば360度、下の点も360度。どっちでも引く・・・引き合いができるんやから・・・

真田 孔明：

真ん中を引くと・・・会長がおっしゃる・・・まだね、イメージがちょっと・・・

北野会長：

これを覚えておいていつか何かの場面になったときに、あ、こういう話、聞いたなと思ったときに本当の金もうけの原理がわかる。

真田 孔明：

あ～

北野会長：

それは簡単なもの。今、現実と頭の中と離れているからはっきりわからんやけど、いざ、その場面になるとそういうことを知っているとすぐにできるようになる。だから孔明さんにもだから、なんでそんなにいっぱい会社を持っているんですかいうて聞かれたときにはたばこ1個、置いてさ、縦に置くと倒れるでしょ？だから横に置いておくんですよ・・・こういう説明をしているわけね

真田 孔明：

それで真ん中に置いておけばいろんなところからびゅっと行ける

北野会長：

そう、下の網もつくれる。ネットワークやね・・・わかる？

サッチェル：

ここでも回せるという・・・

北野会長：

そう、こうも回せるし、高に置けば全部、線でつながるやろ？下だけで紙の目にとるのか、高も網の目につくるのか？っていう話しさ。これを下にも点をつけたら上と同じ模型が下にもできとるわけやろが？だからそれをどう人間はどう活かさんですか？という話し

サッチェル：

なるほど

北野会長：

これまたね、孔明は4年間いとってもなかなか・・・たまにしかひらめかない

メンバー：

笑

真田 孔明：

たまにぞぞぞっと前進するんですけどね・・・笑

メンバー：

2社目をつくるときって登記って今、持っている登記に載せたほうが？

北野会長：

同じところでも全然、問題ない

メンバー：

全然、問題ないですか？

真田 孔明：

それで同じところに家賃を払えばいいですか・・・家賃を・・・

北野会長：

そうそうそう

サッチェル：

登記は同じところでもいいんですか？

北野会長：

全然、使えるよ

真田 孔明：

家賃30万

サッチェル：

A社、B社、一緒に・・・

北野会長：

A、B、C、D、E、F、Gまで全部！金がほしかったら全部、本社へ・・・あれね、役員を変えたり、資本金を変えたり、住所を変えたり3万円かかるね。3万円で30万もうける方法を知ってる。家賃30万ずつとればさ、3万円のリスクで年間360万もうかるわけや。俺は、年金生活者やから、強いことはできんの。年金生活・・・もう

メンバー：

会長って年金あるんですか？

北野会長：

年金生活者。来年からね、二十五、六万・・・年金が

メンバー：

毎月？

北野会長：

毎月。優雅やぞ！

メンバー：

笑

北野会長：

だから、そうやって考えると、悪の結集・・・俺はあれを聞いたら給料をもらっていたら年金はあたらんね・・・給料をもらっていたら。全然、知らんでさ、俺、もう60になったからみたいなことを言うたら「給料をね、あなたの場合、1円もあたりません」みたいなことを言うて。何よ、このおばはんみたいなことでさ。どうやったらあたるのいうたら、会社を退職して給料があたらない人に年金っていうのはあたると。給料やめりゃ・・・本当に給料をやめたら貯金通帳が楽だろうね。これはあかんなど。また、おばはんのところに行って聞いたわけよ。「株の配当は大丈夫？」それは大丈夫、家賃は大丈夫、「会社からいくらの給料までは大丈夫？」これね、やめて切ったらね、なんと国民健康保険からさ、何か国民健康保険に入らないといかんみたいな通知が来るがやて・・・これびっくりしてしまっでさ。それでまたおばはんのところに行っでさ、悪いけどおばちゃん、これどうしたらいいのみたいなこと言うたら、あんた方、もともとの実質経営者やから会社から12万円までもらっておれば年金も全部あたるし、何やったかな・・・何せ全額あたるんやと。社会保険はあそこでかけておいてくれと。番号は変わるんやと・・・何か年金者の番号に変わるみたいなことを・・・結構でも、俺苦しんどるがやて 笑

真田 孔明：

小さいところで 笑

北野会長：

小さいところで 笑

メンバー：

かなり多くの方がやるパターンですね。役員報酬でも年金をもらっている

北野会長：

データベースでいうとね、1,800万から1,900万でかけとるんやて。けったくそ悪いやる？あんなもん、俺にキャッシュでくれりゃさ、お前、楽天で・・・

メンバー：

爆笑

北野会長：

36万もろうても全然おかしくないとかやぞ？今は65まではね、十二、三万しかもらっとらんよ。俺はもっと腹立っとる

真田 孔明：

でも、会長ってそういう小さいところも腹が立つとかすごいですよね 笑

北野会長：

金自身は好きやから

真田 孔明：

もうゲームなんですね？ここは。勝ち負けの。小さいところまでが・・・すごいですね

北野会長：

でもそう思わない？これ、キャッシュで俺にくれりゃさ、今の投信が続く限り・・・でも、本当にそう思うよ。だから、どう生きるかというのと。だから、そういう細かいところにも結構、神経を使って手を打って、金を集めらもどうやったら引っかからん金集めができるか。株でもうけても本当は左側の家賃も・・・家賃をとらないと全体的にもっと会社、課税を受けるわけ。それよりも俺のところ少しね、人目にもよくないから給料をとって、何に使っとる・・・孫に贈与とかさ。そういうのに使っとるわけ。あと、何に使っとる・・・銭もそんなにいらぬ。きのう見た？あのカードでさえ落ちんから 笑 それぐらい節約しとるわけやから

メンバー：

例えば2社目の会社をつくったとして、2社目の会社というのは今やっている会社と同じスキームのことをやろうと、例えばうちが持っている在庫を2社目にみたいな形で、貸しつけて・・・それで商売をしました。そこで売れて売上ができました。支払を2社目だったら1社目に支払った・・・これって・・・

北野会長：

委託販売、大丈夫よ。メンバーから倉庫の中の物を借りてきて売っとるのと同じことやから。メーカーじゃなくてあなたの前の会社からこの会社へ移すんでしょ？全然、問題ない

メンバー：

例えばこの2社目っていうのは明らかに僕の関連の会社、だから利益操作、消費税逃れみたいな・ ・

北野会長：

委託在庫にすると消費税は関係ない・ ・まず一つ・ ・

メンバー：

売上のほうは？

北野会長：

売上はそれはかかるけど。在庫自身は委託しとるわけだから・ ・あなたの会社から。彼の洋服屋へ委託している。売り上げたものについては消費税はかかる。僕の場合は十何店舗、洋服屋をやっとったから結構いろんな悪いことを考えて 笑 結局ね、洋服屋さんも俺から言うと、やっぱりあのバブルが飛んでから1年たったころはまだよかった。それから一気にユニクロのせいで変わったの・ ・時代が。ジーパンに変わったわけよ・ ・はっきり言うと。大体、女の人がスカートをはいていないやろ？スカートをはいた女、最近、見たことある？少ないんやて・ ・本当に少ないよ・ ・

真田 孔明：

街中で

北野会長：

もう、ほとんどジーパンにスニーカーにTシャツやろ？最近女も節約してやぞ。ブラジャーもしていない女もふえてくるんやから・ ・ホンマにそんなもんやて。怖いもんや・ ・節約主義に変わっとるんやから・ ・

真田 孔明：

ユニクロの台頭のせいで 笑

北野会長：

本当にそう。俺なんかだから毎日、着ているものをこうやって見たらユニクロが8割ほどやよ

真田 孔明：

今でも、下着、全部、ユニクロですもんね・ ・僕も・ ・

北野会長：

そうやる？

真田 孔明：

全部、下着・・・

北野会長：

ユニクロはまたね・・・

真田 孔明：

一番、着やすいですよ。下着

北野会長：

色が黄ばんでもずっと着とられるわね。すごい商品だわ

真田 孔明：

気持ちいいんですよね、肌触りが・・・

北野会長：

恐らくそういう面で株を持っている人はいないやろ？恐らくこの中に・・・そこなんやて。だから、株も人生も一緒さ。何か変やなと思ったらもう買っておけばええんやて・・・わかる？商売っていうのはみんな一緒。今、長期的に俺、見たらTね。鉄よりも強い樹脂やろ？鉄よりも軽くて固いんやから。だから、そういうことをMとかもそうやね・・・2社が競合しとるんやから。Tも参入しとっけど、そういうことが大事さ。ただ、いつその幕開けになるかっていうのはわからん。でも、素材としてはもう発生してしまとる・・・じわじわと上がとるよ

真田 孔明：

鉄よりも軽い

メンバー：

カーボン

メンバー：

炭素繊維

北野会長：

こういう具合にだから株も分類すると、ああ、そうか炭素はまだ認定されていないから長期的に見んとだめだ・・・こういうことなんやて。だから、電波産業は今のがやて。今、電波産業。世界中！全部！

メンバー：

Sとかそういうことですね。

北野会長：

例えばAとかさ。アメリカ系なら大体そうや・・大体もうかるんやて。例えばアジア圏だったら、Aグループやったかな?ものすごい口座を持っとるんやて。マレーシアの会社でありながら。1億8,000回線を持っとる。基本料金がとれるわけや。簡単やろ?なぜかという労働がいらないのやて。サーバーやとかさ、メモリーの多さで金もうけしている会社やろ?もうかるだけ。だから人件費が一番高いんやから・・世界は。だから、きのうもきょうもばかなことを思っとるのは、14億の人がおると・・ここにね。たった1円ずつもろうたらいくらよ?

メンバー：

14億・・

北野会長：

そうやる?だから、これを何か今から帰ったらこれを主に考えて・・株よりも何か1円ずつ回収する方法を考える

サッチェル：

仕組みを考える

北野会長：

これ考えたほうが甘いなと。これ10円とったらでかいぞ!毎月・・

サッチェル：

毎月10円、そうですね

北野会長：

そうやる?元手いらずやからの。世の中、常日頃こう考えたらこういうね、ばかなことばかり考えとるね。ろくでなしっちゃね、ばかなことを考えるんやて 笑

真田 孔明：

僕もったいないことがあったんですけど。僕がサラリーマンのときにアドバイスした上海の会社でタオミーっていう会社があったんですよ。そこをアドバイスしたらオンラインのユーザー、僕ゲーマーなんですよ・・実は。もともとゲームをつくりたかったの。2億ユーザーになっちゃったんですよ。2億ユーザーですよ。今ね、ニューヨークに上場したんですよ。そのときに僕はサラリーマンだから、何かへーって見ているだけでやめて飛び込まなかった・・誘いが来ていたのに。T出身の経営者だったんですよ。そこから抜け出してキャラクターのかわいいペンギンのマークあるじゃないですか?あれをつくったやつだったんですよ。僕が日本に連れて行ったアンパンマンとか見せに行ったり・・だからアンパンマンそっくりなんですよ。

笑 何かいろんなところ見せに行ったりして。2億ユーザーになっちゃってね・・・もったいない。目の前にチャンス・・・

サツチェル：

そこから課金しているから。2億ユーザーから。

真田 孔明：

そのうち全員がね、課金するわけじゃないんですけど。すごい課金量ですよ・・・上場しちゃって・・・ニューヨークで・・・

北野会長：

だからMとかさ。本当は株は小出しやないやてね。たまたまMCっていう前に言った・・・孫がさ、何て言ったっけ。ちゃかちゃかちゃかって指を引っ張ったらさ、がちゃがちゃやっとなるやろ？孫に銭をやっとなるんがやから孫に聞くがやて。お前、今、何が好きやいうて。株をやったら何を買う？僕はMやとかさ、僕はなんとかやって言うがや。ゲームの会社。ゲームの会社以外の名前を知らんが。ゲームの会社だけ知っとる。この間、パパにMの株を1,000株買ってもらった。孫が・・・4,000円ぐらいになったんやて・・・一時バ〜んと。やっぱし自分の勘は・・・俺より勘がいい男やて。当たるとそんなもん。だから、俺もなんで株を始めたかいうたら、下宿しとったばあちゃんが80ぐらいのばあちゃんが株好きでね。買え、買え、買え、買えってうるさいんやて。ボーナスをもらったら家賃が6万円の、6,000円の家賃を10カ月以上、滞納しとったね。なのにボーナスをもらっても滞納のお金はいらないから・・・

真田 孔明：

すごい大家さんですね・・・それ！

北野会長：

株を買えと・・・その時、俺も嫌々買ったんやて、本当は。正直に言うと・・・

真田 孔明：

滞納もしているし 笑

北野会長：

滞納もしているし・・・ばあちゃんが「滞納はいいから買え」みたいなことを言うから

真田 孔明：

すごいばあちゃんですね！それ！

北野会長：

で買った・・・

真田 孔明：

じつは大富豪だったりして

北野会長：

すごい地元ではかなり有名な会社のおばあちゃん。それで買った株が何か何倍？普通、倍はどんな株でもなるんやけど、何倍にもなったんやて。そんな甘い話はないやろと。それではあちゃんのところへ未払金あるもんやから。ばあちゃん、6,000円ずつ・・1カ月ずつ返済。10回行けることやから。「ばあちゃん、次は何？」みたいなことを冗談で聞いた。もうそれからずっと今度そこにいたときはまだ従業員やった。会社も研修から見たら10カ月ぐらいそこにおったんやけど。3カ月研修で・・でも、その10カ月目はトップセールスやからね

メンバー：

おお～

北野会長：

要は売上やから。そのときに俺はね、結構まともな先輩に聞いたんやて「どうしたら物っちゃ売れる？」聞いたが。そしたらその人は俺にこうて言うた。相手のないものを与えてやれば相手は一番うれしいんやと・・相手のないものね。どこかで聞いたような感じでない？こういう言葉。みんな女、好きやろ？自分がないからあれ好きんや。ほとんどそれで無駄遣いしとるね・・これはだから人間の現実なんやて。だからいかに相手のないものを与えるか。もっと楽なのは相手が喜ぶものを与えるわけよ。ないもの、喜ぶもの。これが一番喜ばれるわけ。残った在庫でもね、廃棄処分せんと、どこかそこらの姉ちゃんにさ「お前、お母さんに着せとけ」みたいなことをいってやればそれ1回で・・結構、節約できる。冬になったらコートのバーゲンとかいっぱいあるやろうが？どれぐらいまで下がってるか知らんけど、うちでね、まず2割引ぐらいまで落ちとる。定価の2割引やから安いもんや。そんなもん袋の中に詰めてさ、飲み屋の姉ちゃん、みんなにやっとけばさ、2人に1人させてくれてもまあ、結構、節約になる。計算力でいっとっから・・こういうことなんやて

真田 孔明：

2人に1人ってすごい確率ですよ！ 笑

北野会長：

だからやっぱりジェスチャーっていうかね。考え方が・・脈のないところでも人脈はできる。例えば若いガキにこうやとくやろ？若いガキは友達おるやろが？それはブスでもええんやて。お前、結構、友達多いし。どんどんちゃんとお食事会に来るようになるがやて。結局テリトリーをふやさなきゃ、金なんてふえないんやから。羊やとか豚やとか牛やとかね、これお金を持って走ることはないからね・・覚えておいて。金っていうのは人間が持つものやから人間のネットワークを広げなきゃ、どうしても金っていうのは集まらない。人間っていうのは大事なわけよ。例えばマンションを買いました。どうやってマンションを埋める？その若い子に払ろうても払わんでもいいマンションができた言えば、みんないっぱい入って来る。まず人気を高

めることが一番やて。芸能界を見たらそう思わない？あれ別に英語がしゃべれるとかさ、漢字が得意とか関係ねえやろ？ばかなことを一言だけ言って・・・ばんとウケる。やっぱり人気商売なんよ。俺はいつもそういうことを・・・皆さんは、大学を卒業して、いい人生を送っとっから、あんまり見えんが・・・そういうとこ。わしら劣等生は、全然違うことを思うとるんやて

メンバー：

う～ん

北野会長：

ラッスンゴレライみたいな、これはおもしろいなと・・・やるのに8.6秒しか、かかってとらん。ラッスンゴレライ、ラッスンゴレライ毎日、言うとおっけど。だから、人間っていうのは、あんな単純なものに引っかかる。去年も何やったか？孫に聞かんとわからん・・・去年のはやりがもう忘れていく感じ。去年も何かはやったやろ？

真田 孔明：

妖怪ウオッチ？

北野会長：

しゃべる言葉よ

メンバー：

だめよ

北野会長：

ダメよ、ダメダメやて。結局そういう点がつかめないと商売にならんわけさ。何がいいっていうのはそういうのが、ポイントなんやて。ポイントはそんなに大きくないわけや。話は大きいかもしれないけど、金もうけのポイントなんてもっと小さい・・・ポイントとしては。この前も言っていたけど、1ドル、為替が80円から1円、上がるごとにトヨタは300ずつもうかるんやて。そういう具合に計算すればどんなばかでもトヨタは買える・・・本当は。10円切った会社が株が上がる。1人1,000万、経費かけとるのに1,000人を首切りすればさ、会社は・・・お前ら経営者やろがよ？そうやろ？人件費を一気に落とせば売上は同じなら収益が上がるのは当たり前やろ？こういう具合に考えれば商売っていうのは難しくないわけさ

メンバー：

はい

北野会長：

今度シャープが2,000人ぐらい切るわけやろ？今度、シャープがなんでじゃあ、2,000人切るいうて発表しても株が動かんのか言ったら、体質が悪いわけよ。シャープも例えば液晶か何かから手を引くと・・・液晶なんていうのはね、もう中国でバンバン生産されとるんやから・・・価

値はないわけよ。またソニーか何かで手掛けとるiphone？まだ将来性があると。消費者はそうやって見とる。ソニーなんか昔・・・みんなは知らんけども。もう1カ月たったらソニーの株価は1万円になると・・・わしら株をやっとっから・・・本当にね、耳にタコができるぐらい聞いたから。この間、2,000円割ったよね？今、3,600円か700円ぐらい・・・そんなもんやで。だから、天下取りと一緒にさ、そういった美味しい話はない。三日天下じゃないけど、本当に、あっちゅう間に経済は変わっていく。昔、皆さん、生まれていない。昔、昭和の初めに日本のトップ企業、知っている？誰か？昭和・・・俺もそう思った。この間、東京に行ってそんな話をしとったら「お前、知らないの？」「え、先生、なんですか？」言うて・・・「あれだよ、カネボウだよ」って・・・カネボウが日本の一番やったの。俺はあのとき聞いてびっくりしたわ。ついこの間になくなった会社がカネボウだったよね？花王か何かに全部取られて。長生きするとああやって全部、取られる・・・

メンバー：

粉飾ですね・・・在庫で・・・

北野会長：

彼が言ってたね。洋服がいっぱいあった・・・笑

真田 孔明：

草野球チームは大丈夫ですね？上場企業ですから・・・

北野会長：

だから草野球チームっていうのは何でも本当はできるわね。だから、2年や3年せんだってない。それで税務署から聞かれたら、聞かれたら言うがやて。一生懸命に研究したけど決算書のつくり方を習っていないと。どうしたらいいですか？いうて言っておけばええんやから。あんたんとこの会社は決算書が出とらんが。どうなっとるんや。決算書、つくり方がちょっとわからないもので・・・

真田 孔明：

この繰り返し 笑 昔、言われたんですか・・・これ？

北野会長：

これを言うだけで、もう2年ぐらい延びるんやて

真田 孔明：

延命！

北野会長：

延命

真田 孔明：

余命時間が・・・

北野会長：

数字は出ないんやから。相手が聞くやろがいね？そのとき必ず言うがやて・・・「出ていない言わんとね、お宅がうちの事務所に来てやっていってくれ」と頼むがやて。相手も忙しいから、ほとんど来ないって。また電話してさ、いや、先日の話やけど、1回来て帳簿・・・うちは持って行ってもいいんやけど、またあれを持ってこい、これ足らんいうて言われたら困るからあんたが来てやってくれと。これだけでも2年は延びる・・・

メンバー：

笑

真田 孔明：

すげえ。これぱつと言えちゃうんですね

北野会長：

いかにこれをさらっと言えるか・・・言う度胸があるかや。俺なんか初めて会社をつくったのが22やったか1やったかでつくって、電話がかかってきたんやて。「決算書、出ていないけど」って。そのときは既に2年たっとったね。2期も出ていないと・・・「済みません。学校のときもそんな話、聞いたこともないし・・・そんなの出さないといけないことあるの？」って俺、聞いたら「それは出してもらわんと困ります」じゃあ、お前が来てつくっていってくれ。全然、来ないのね。腹立ってさ、「この間、お前、来てどうのこうの言ってたのどうなっとんのや」

メンバー：

爆笑

北野会長：

あのときに人間ちゃ、こんな固い商売をしとる人ほど人ごとやから、あやふやのやて。交際費とか福利厚生費、わからないて。初めて聞いた単語やからさ

メンバー：

爆笑

北野会長：

わからない。みんなそうやって人に・・・自分の責任じゃない。お前らが悪いんやと。このシステムをとるようになったら全て現場も一緒やで。うちの会社にいまだかつてタイムカードいうシステムはねえ。なぜか言うたら俺がね、いつも遅刻犯やったもんで、自分が会社をつくったらタイムカードだけはやめようと・・・それと販売会議ね

真田 孔明：

販売会議。営業会議

北野会長：

営業会議はやめようと。いつもよりよりね、1時間、早く起きていかんとね、勤め先が・・・倍、以上も走らんと・・・ひどい眠たいし。それでさ、俺がいつも思っていたんやけど、ばかなさ、トップがさ、1カ月の売上日程表、これ本当にね、むだなの。失礼やけど。あんなばかなこと書くやつと書かせるやつが一番ばかやぞ。あした死ぬか死なんかわからんような人間にやぞ。売上日程表どうやって書く？。1日の日はこれぐらいって。これなぜかね、収益を売上を一番最後に合計いう欄に書くがやて・・・何百万円。それもまた送ったこともない未来の日の売上を書いてあるんやで。18万とかさ・・・126万とか・・・何か課長か部長があれを見てさ。この数字はどこから捻出したの？

真田 孔明：

ああ、これずっとやっていたな。僕も営業会議で・・・

北野会長：

あんな俺ばかな、あれで1日、1日いいよ。昼、何かうどんかさ、どんぶりを食べさせてもらってさ。あれがね、いくら考えても理解できんがちゃ。1カ月あとのことを書くんやよ？世の中に出て初めてわかったら、借入するときにね、すごく参考になっとる。借入のときに。あれ1年分のね。すごいね、やっぱり会社ちゃいいことを教える。あのときにそう思った。それまで、だから何をさ、売り上げを基本に営業マンを雇っとるわけやろ？普通はさ、営業成績のいい者を重視しとる。来る時間は同じ時間に来いっていうやろ？9時に。俺はあれが何か不思議でね。今でいえばフレックスタイム？いつ働いても売上さえ上がるとればええと。これが一番ええんでないかなと・・・うちにタイムカードをつくらん。俺はいつも孔明に言っとるんやけど、融資をたくさん獲得する社長が一番いい社長。これがね金利5%のときと今みたいに1%のときに天と地も違う。何もせんでも4%儲かるんやから・・・わかる？それこそまさしくジェントルマンの法則やなとわしはそう思っとる。いかに銀行といい付き合いをするのかいう

真田 孔明：

じゃあ、今のところ弟は完璧な社長じゃないですか？

サツチェル：

完璧ですな

真田 孔明：

最初から2,000万、何のミスもなく

メンバー：

あ～

北野会長：

そうやる？転写さ。さっき言った円の上に点をとるか下に点をとるか。見方によって上と下やけど、図面を横から見たら同じやて・・・ここに円があったら・・・

メンバー：

あ～

北野会長：

自分が揺れるのか相手を揺らすのか。立場が変われば全て変わるからね・・・一言や。銀行も同じ・・・そう思って付き合えば国も同じやて。どっちが落馬するのかって。だから、ふらふらとこうしとるわけや

真田 孔明：

普段からこの揺れを・・・笑 これはやっぱりあれですか？釣りをされていてボートの上のその揺れをイメージして・・・それは関係ないですか？

北野会長：

同じや。微妙な当たりとかさ。この揺れ。船の中では揺れとっても酔わないけどね。陸へ上がるとなぜか陸が動かないもんで俺が酔うわけや。そのときに待てよと・・・これを反対のことに使えば相手が質問したときに俺はさ、しっかりしとっから。人間がしっかりしとっから陸の上であんまりね、陸が揺れないんやて。岸以外は。これ船に乗ると船がゆらんゆらんするけど、船には酔わない。陸に上がると何か陸が揺れとるような感じ。そうか人間ちゃ、逆に考えるとこんな簡単なことを今までわからなかったっていうね・・・きのうも言ったけど、まず餌をまく。釣りは餌をまかないと・・・あんな広い海でね、誰もいないところに竿を入れとってもあかんよ・・・本当に。ただの無駄。まず撒き餌をする。魚を釣るのも人を釣るのも同じやから、撒き餌をする。女でも撒き餌をすれば余計、寄ってくる。撒き餌もせんような男には愛とか恋とか言ってあやふやなことを思ってさ、声をかけとってもあんまり成功例は薄い・・・本当に。成功するためにはやはり企業努力とプレゼント。まめによいしょにプレゼント。もう決まってしまうとるんやから・・・単語は。日掛け、月掛け、心がけとかさ。いつでも、どこでも、誰とでも。このぐらいもう単語はつながってしまとる・・・もうネットワークシステムやから。我が家にはこれ330箇条もあるから

真田 孔明：

330箇条、全部ほしいですよ。その奥義を 笑 330箇条！

北野会長：

これ330箇条いうとっと、俺自身も大分、半分ぐらい忘れて・・・

メンバー：

爆笑

メンバー：

日めくりできますね！毎日

北野会長：

思いついたときに孫に勇気、実行、行動力やぞと。というようなことを言うとりんやて。きのうどういったかは、全く思い出せないね。やっぱりただの酔っ払いなのかもしれんけれども。こういう昔からの底辺つながりっていうのは結構ええことを言うとりんやて。だから常に知恵を生かしながら経済を渡ると渡りやすい。だから、1人で考えるより3人、3人で考えるも300人、毛利元康やったっけ。兄弟3人で努力すれば天下取れる。ここは13人もおるんやから13人でゴルゴ13になっても困るけども

真田 孔明：

ゴルゴ13・・・切り替えしが早すぎますよ 笑

北野会長：

酒を飲むとね、何か口が回るんやね。酒を飲まないと本当に内気、内向的でね、なかなか、愛しているのこの一言が言えないタイプ。昔はだから言葉を開発しとる。おしょくすとかさ。いい言葉やる？初めて聞いた人はなかなかね、これ察知できないやろ？え、何なのって言う。お食事、ショッピング、セックスを3日かけずに1回で済ませる

真田 孔明：

女性もわかりやすくていいですよ。お食事、ショッピングがもうすぐについているからね。ギブ・ギブ・ギブ？ギブ・ギブ、テイクかな 笑

北野会長：

だから発想が少し変わると言葉をつくれるっていうのはそういうことなのよ。だから、芭蕉の句やとかさ。でも、昔は伸びやかな句がすごくもてたっていうのかさ。今ああいう伸びやかな句っていうのはあんましもてないんや。「静けさや、ああ、静けさや」本当にただ、静かなだけでないか？今の時代にはマッチせんがや。「古池や」とかさ。朝顔や・・・どの五字を見とってもあまりぱっとせんもんや。今はもっとひねった魔球みたいなような、ひねった言葉が重宝されるわけ・・・本当に。そうしたほうがわかりやすいやろ？だから、やっぱり時代とともに、そろばんの時代から計算機の時代になって、8メガ、8ビットの世界に変わって、今はシステムが組み込まれたものを売っとるやろ・・・今。全ての業界で全部ある。もう発明するっていうばかな発想はいらんやて。いいものをつくった人はそれをコピーするだけなんや。時代は変わっ

たわけ。これからどんな時代になるかを想像したほうが、俺は金もうけには一番最適でないかなと・・・新しい時代をつくる。それが一番の発明やから。だから、どういの？物を運んでいた時代に船で物を運ぶと大量に運べたやろ？貨車から船になって、船から何になったの？自動車になったの？遠くへ運ぶためにヘリコプターで飛行機で物を運ぶようになったわけよ。時代とともに同じことを繰り返しとるわけ・・・時代が。これからさらに未来はもっといいものがどんどん出てくるわけ。ホンダの飛行機やったっけ？三菱の飛行機？飛行機が5億4,000万か何かで、時々売れるんやから。

メンバー：

爆笑

北野会長：

言うだけただやから。あとね、現実ほど怖いものはないんやから・・・現実はずれば遠いほど・・・皆さん、そう思わん？ビルゲイツとかさ、電気を発明したおじさんおったやろ？飛行機を飛ばしたおじさんとか。あれ、お前、みんなあの時期から見たらほとんど気違いと同じやぞ？そうやろ？

メンバー：

使っている金は全部、研究開発・・・

北野会長：

全部、経費や。

メンバー：

でも何か申請しちゃったら、研究開発、大変ですよなって融資がついちゃったみたいな

北野会長：

だから言わんよりも言うたほうが得やよって。でも、そういうね、ばかな文章を書く人が少ないから、だからばかな文章のほうが案外、認められる。さっきも言ったとおり未来は誰もわかっていないんやから。真田孔が飛行機をつくろうとさ、火星に行ってもおかしくない。そうやって考えたら未来は結構、明るいやろ？俺と話しておるうちはみんなね、ただ笑っとるだけや・・・まともじゃねえんやから。考えとることはまともでねえや。今、みんなに言う的一生、みんなは笑って過ごさんならんから言わないけど、やっぱりまともなことをあまり考えていないんやて。だから、この発想の切り替えは早いんやて。居合抜きも早いけど、普通の人にはね、やっぱり青のボタンが金額を見てからボタンを押す。僕は青であれば何でもいい。プラスマイナスは千二百何十円か、千二百五十何円かかかるので、手数料。プラスマイナスは、なるべくボタンを押さんようにしている・・・それだけ

真田 孔明：

赤だったら買う

北野会長：

赤、赤、1日目は我慢するがやて。2日目、見とるんやて。3日目、下がったら一気に買い増し。ただこれの作業はそれだけ。あとは自分に。上がったお金があって・・次の日上がるやろ？今度、未練が残るがね

メンバー：

はい

北野会長：

どこを点に物を見るかやね。飛行機の案件あたりもいいんじゃない？一番やっぱりはっきりわからん・・IPS細胞の研究とかさ。これはもっとはっきりわからんやろ？電子顕微鏡経費、何百万、引っ張って・・

真田 孔明：

人件費はあの女性たちが・・

メンバー：

小保方さん

メンバー：

小保方さん

メンバー：

小保方さん、実証実験費！

北野会長：

金は稼ぐもんじゃねえ。借りるもんやと。こういう具合に物を考えると同じこと、AもAイコールB、BイコールCやからA、Cは同じなんやて。こういう具合に思うともらった金も稼いだ金も、借りた金も同じ。金を持つとる以上は金持ち。金を持つとる以上は金持ち。借りたお金、たくさん持っているけど金を持っている人は金持ち。金のない人は貧乏人なんや。AとBしかないわけよ。借りた金をCとしてもA、Cは同じでも、1,000億、孔明は持つとると。あとでサッチェルがいろいろ調査したらあの1,000億は全部、借入やった。でも、孔明は金持ちなんや。世間から見たら大金持ちなんや

サッチェル：

大金持ちです

北野会長：

そういうことが一番大事やて。ここら辺がわかるようになると借金もしやすくなる。セックスも肌の触れ合いと思えるようになるとしやすくなるやろ？感情がどんどん抜けていくともう人

間は純粹になるんやから。感情というものはコントロールしとるから人間はさ、恥ずかしいとかさ、辛いとか愛しているとか、恋しているとか思うやて。だから、若いときはもっとそれが感受性が高いから・・・だから失敗も多いわけ

真田 孔明：

感情を抜くにはどういう修行をすればいいんですかね？

北野会長：

それは抜けん。これはね、若いときは抜けない

真田 孔明：

抜けないですか。

北野会長：

これね、無の世界に行きたいなんてね、本当にやっぱり体が弱ってないと無理 笑 体が弱って金が大事やなとすぐ思うようになると節約が身についてくる・・・それまでは無理。いくらね、脳でコントロールしようなんてね、1日はコントロールできる・・・1カ月はコントロールできない。反発がきて3日分を10回、使うことになるよ。だからストレスになってしまって無理。ほしいものを我慢すると、女性の人はずっとそうやから・・・だから女性はいいやろ。もう有給休暇5日から1週間、持っとるわけやから・・・1カ月に。だから、男と違うのはやっぱり女性は有給休暇を持った生物や。男は有給休暇がないやから。永遠の労働者。動く労働者みたいなもんでさ。みんなは悲観することない。人間は考え方やから。孔明も今は若いときやから、金に焦らんと・・・

北野会長：

今、何時。まだ12時やとか。

真田 孔明：

9時

北野会長：

見ておいてよ。これもし落ちなかったら、俺が一番最初に帰るから・・・ちょっとみんなでカット割りしておいてくれ。たまにこういうことがあるとね、何かカード不審になるよね。本当よ。悪いのは本当は自分なんやけど。人間はさ、自分が悪いと思ったら自殺せんといかんやろ？俺の場合、永遠に人が悪いと思っとるタイプやから。悪いのは他人のがや。自分が悪いと思って自分を責めるタイプは暗くなってよくない・・・全部、人まかせ

メンバー：

人のせい

北野会長：

現場でいて思わない？ 済みません「私、とりに来ますから」という言葉、結構、使うと思うやろ？ あれは反対に使うと注文した全部にみんな、注文したものを相手に持ってこらせる。伝票も相手、値切るのも自分のやて。こうしたほうが労力がものすごい少ない。電話もだから相手からかけさせるシステムね。とれば全然、実態経済は全然違ってくる

メンバー：

違いますね

北野会長：

ものすごい違う。自分のところの若い人にさ、ユンボを取りに行ったら来てとかさ。2トン車を取ってこいとか言うのと。前の日、段取り・・・社長が2トンとコンマ5か、コンマ3か知らんけどさ・・・ユンボは。夜に注文をとる。業者にとらせる。これだけでもものすごい違う。従業員が来たときは現場に機械がおるわけやから・・・動きやすく。金もうけはけっこう知っとる・・・金もうけはね。全てがそういう原理さ。だから、発想、発明、あとは経営者になって成功するのは段取りやから。段取り8割、仕事2割やったかな？ 昔はもう定説がある。江戸の時代から立てるときに段取りを8割を前の日に考えて職人が2割の仕事をすればもう一緒なものができる。段取り8割、仕事2割・・・確かそういうことだった。だから全ては段取りなわけや。だから悪いことをしよう、いいことをしようにしろ、図面を書いて計画的にやらないと、何にしろやっぱり計画を立てたほうがいい。金もうけは特に融資やとか、いろんな素質が各分野にあるから研究したもん勝ちやから。

真田 孔明：

通りました（カード）

北野会長：

ほら。えかったね。あんたは・・・2日も犠牲にならんで済んだや 笑

真田 孔明：

金は余っていますから・・・

メンバー：

慣れてきましたね！

真田 孔明：

あ〜どきどき

メンバー

爆笑

北野会長：

これをね、さらっと言うとね、何か本当の金持ちのような感じせん？

真田 孔明：

不敵な笑みで

北野会長：

金は余っとる。毎日そう人に言うたら、人が喜ぶんやから。ラーメン1杯でもさ、きょうおごるよ、金は最近余っているから

真田 孔明：

最近、余っているから！最近、余っているから！いい言葉ですこれ

北野会長：

最近、余っている。600円ラーメン二つで1,200円やろ？2,000円、持っとれば金は余っとる。800円、お釣りがくるんやから。こういう具合に考えないと。金っていうのは永遠に余まっとるんやて。普通はさ、400円しか持っていないのに600円のラーメンを注文しないでしょ？同じことさ。起点の点をゼロをどこにベースを置くかで全て上下するでしょ？金、余っとるから大丈夫や。最近余っとるのは金や・・・

真田 孔明：

最近ね、いいね。ちょっと初心者には最近・・・初心者がいいね、これ！

北野会長：

本当に、この一言でね、友達が笑みを浮かべる。「おお、久しぶりやん。何か食べに行こう」言うて「俺、最近、金が余っとるからさ。出す、出す」すごい友達、気が楽になるよ。これ飲み屋でやってみら。あ、ヘネシーも何でも好きなの入れて。最近、銭が余っとるから。カードを切って落とさなきゃ一緒やから・・・これぐらい物を考えられる。考えることができるよ。人間の証明やから。悪いことするなよ？きょうから仏門の世界に入って・・・無の心境で、言い訳はしないと。黙って仏門の世界に。これはお前、いいかもしれない。あとは聞かれたことをオウム返しで言うと。名前は言うたら、あなた、名前は。一緒、オウム返しで言えば。覚えていますか言うたら、きのうのご飯、覚えていますか？言って聞けばいいんやから。これだけでもかなりの参考になるやろ？悪いけど、そんなにお金のことで言うたら、きのう、いくらあなたの財布にあったの？自分の財布のお金ほどいくらはっきりあるか知らない人ほとんど。あれは自分のもんやと思っとるやろ？財布は・・・だから絶対。もし、自分の財布を出してびったしの金額をもし自分で言えたら天才的なもん。自信を持って誰か言える人いる？

メンバー：

全然わかんない。

北野会長：

ない人はいいよ。ない人はゼロ円っていうから

メンバー：

自信を持ってゼロ円ですって

北野会長：

カードは持っているけどマネーはゼロ円。だからジェントルマンと言われておるんや。銭とるマンやから。銭をとる男。銭とるマンいうて。いろんな生物に成り代わることができるの。銭とるマン。みんな金が余っているいうて、銭とるマンやから。なんぼでもとりにいくから・・・チェックもしたし、帰るか・・・さ、行こうよ

メンバー：

ごちそうさまでした